

テーマ：星を作ろう！ Ad astra！

【コンセプト】

星に至らむ願い持て！在校生とすべての卒業生の心の絆を象徴するこの言葉にちなみ、夜空に私たちだけの星を仰ぎ見て、より一層心の絆を強化し、全ての長田高校関係者の一体感を醸成すること。

【事業内容】

超小型衛星を専門メーカーと卒業生の力を借りながら、在校生の部活動で製作。

衛星打ち上げベンチャーで衛星を地球周回低軌道に投入。微弱電波で校歌を放送及び宇宙からの画像送信を行う。

衛星の座標を追跡するアプリも開発し、全国に散らばる同窓生で観測会を行う。2020年には母校長田高校で観測会を行い、上空を通過する際に校歌と画像を受信するイベントを行う。その後、高校上空を通過ごとに在校生は校内放送で受信内容を放送する。

運用期間は、およそ5年間を計画。予算は、3Uサイズ(10×10×30cm)の衛星製作と打上げコストで約2000万円～。

運用可能期間は5～10年。高度500～600km。

部活動としては、新たに創設または物理部を想定。



テーマ：長田高校100年の森

【コンセプト】

長田が掲げる「智徳体」（調和的な成長、個性主義、自由主義の尊重）という神撫教育の伝統に、「環境」という新しい伝統を加える。人間のエネルギー源である緑の森を、今後百年余の同窓生が、世代を超えて受け継ぎ育んでいく。

【事業内容】

兵庫県緑化推進協会が進める「新ひょうごの森づくり」の趣旨に賛同する形で、社会貢献活動の一環として、所有者に代わって県内の森林を整備・保全する活動を行う。

「尽きぬ苅藻ぞ海に入れ」と校歌にも謳われている苅藻川、その水源となる六甲山や兵庫県の母なる森を再生し、郷土の環境保全を図る。場所については、緑化推進協会の斡旋によるが民有林数haを借り、有用な広葉樹林を残しながら、針葉樹・広葉樹を植栽して、森の再生を目指す。植林や植生観察などを通し、森の大切さ、森を育てることの苦労と喜びを経験して行く。毎年、年3回程度の作業を、OB・OGを中心に生徒、PTA、家族等がボランティア活動で行なう。また、森の中にログハウス等の研修施設を建て、卒業生を講師に招いて現役生に対する宿泊講習や、宿泊を含むミニ同窓会などを開催する。あるいは、光害の無い環境を利用して星の観測会やファイヤーストームなど、企画案は無限に広がる。

